

平成24年度 第9回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年1月16日（水）14時30分～15時52分

場 所 事務局大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、
今野、梅澤、國宗、塩川、荒川、酒井、西原、増田、青山、塩尻、
東郷、星野、佐古、鈴木、渡邊修、糠谷、永津、渡邊尚、三村、田中、
村井、加藤の各評議員

陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤、木村の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成24年度第8回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

議長から、グリーン科学技術研究所設置に伴う、静岡大学学則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学大学院規則の一部改正について

議長から、情報学研究科、理学研究科、工学研究科及び農学研究科への教授会の設置並びにグリーン科学技術研究所設置に伴う、静岡大学大学院規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学学部長等の選考及び任期に関する規則の一部改正について

議長から、「理工系教員の修士課程所属」、「電子工学研究所の改組」及び「グリーン科学技術研究所の設置」に伴う、標記規則の一部改正について、平成25年1月11日役員会決定（報告事項1【資料9】）に基づき、資料3により説明があり、審議の結果、標記改正規則案中第5条第2項の「当該研究所に所属する専任の教授のうちから」を「当該研究所に所属し、同研究所の勤務を本務とする教授のうちから」に修正したほかは、原案どおり承認した。

なお、今後、制定または改正をおこなう学内規則において、「専任」の文言を使用する場合は、当該規則に「専任」の定義を行い使用することとした。

4 平成25年度の改組等に伴う措置事項等について

企画部長から、継続案件となっていた、平成25年度に実施される「理工系教員の修士課程所属」、「工学部・工学研究科の改組」、「電子工学研究所

の改組」、「グリーン科学技術研究所の設置及び遺伝子実験施設・機器分析センターの廃止」及び「創造科学技術大学院組織の見直し」に伴う、整備が必要となる事項について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、管理職手当の在り方については、今後、組織整備を踏まえ、手当の在り方を含めて、再度検討を行っていく旨の発言があった。

また、資料中、管理職手当移行表について、現行の「学部長」の表記を「学科長」と改めることとした。

5 国立大学法人静岡大学中期目標及び中期計画の変更について

浅利委員から、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター持続型農業生態系部門藤枝フィールド及び森林生態系部門南アルプスフィールド（中川根）が教育関係共同利用拠点の認定を受けたことによる中期目標の変更並びに、地域連携共同センター等を廃止しイノベーション社会連携推進機構を設置したこと及び静岡大学藤枝宿舎の土地の一部を藤枝市に譲渡することによる中期計画の変更について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、浅利委員から、本件は、次回経営協議会（H25. 1. 25）に付議した後、文部科学大臣に提出するとの発言があった。

6 静岡大学男女共同参画推進室特任准教授の採用について

船橋委員から、男女共同参画推進室特任准教授の採用にかかる、本会議の下に設置された人事委員会の審査結果について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 慶北大学校（大韓民国）との大学間交流協定の更新について

村井委員から、標記協定の更新について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 スリ・ラマサミー・メモリアル大学（インド共和国）との大学間交流協定の締結について

村井委員から、標記協定の締結について、資料8により説明があり、審議の結果、原案通り承認した。

9 教員の休職について

鈴木委員から、病気休職中の農学部教授を、引き続き平成25年2月6日から平成25年3月31日までの間、休職とすることについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 新研究所長の選考に関する取り扱いについて

議長から、役員会（H25.1.11）において承認された、新研究所長の選考に関する取り扱いについて、資料9により報告があった。

2 企画戦略会議報告

議長から、第9回企画戦略会議（H25.1.9）について、資料10により報告があった。

3 経営協議会報告

議長から、第6回経営協議会（メール審議）について、資料11により報告があった。

4 創造科学技術大学院コア教員の選定について

碓氷委員から、新研究所設置・創造改組等準備委員会による、創造科学技術大学院コア教員の選定結果について、資料12により報告があった。

5 静岡大学電子工学研究所とウクライナ国立アカデミーV. E. ラシュカリョフ半導体物理学研究所（ウクライナ）との部局間交流協定の締結について

村井委員及び三村委員から、標記部局間交流協定（更新）の締結について、資料13により報告があった。

6 平成24年度補正予算について

山崎委員から、平成24年度補正予算について、本学分として、施設関係において、総合研究棟（人文社会科学系A・B棟）、静岡キャンパスのライフライン再生（給水設備等）、附属図書館分館・学生支援施設及び武道場（静岡、浜松、島田各附属中学校）における改修を、設備関係においては、超微細細胞構造解析システム、多機能X線光電子分光システム及び超高性能物質分光解析システムの研究設備について予算措置されたこと、並びに、給与削減相当額として、一般運営費交付金の引き上げが行われることについて報告があった。

なお、議長から、今後、改修工事等が円滑に実施されるよう、協力要請があった。

また、山崎委員から、平成25年度予算の見直しについては、昨年度提出した概算要求をベースに折衝することとなるとの発言があった。

7 職員の懲戒処分について

山崎委員から、道路交通法違反等により逮捕された職員の、懲戒処分について、報告があった。

IV その他

1 平成24年度農業環境リーダー認定式について

糠谷委員から、標記認定式（H25. 1. 26開催）について、資料14により案内があった。

2 海外からの博士学生・研究者の受け入れ態勢に関する調査について

国際交流センター、ライアン優子准教授から、海外からの博士学生・研究者の受け入れ態勢に関する調査について、調査成果の活用方法、調査方法及び調査項目等について、資料15により説明及び協力要請があった。

3 学長選考にかかる意見について

加藤委員から、学長選考に関し以下のとおり意見があった。

- ① 学長選考会議の学内委員については、教育研究評議会から選出されていることから今回提出された公開質問状への対応を含め、同会議の審議内容については、教育研究評議会において、詳細に報告されるべきではないか。
- ② 意向投票の結果について、学長選考会議の中だけの議論ではなく、「会議の外」で教員、附属学校教職員、事務系職員が本学の運営にどのように関わるのが適切な形かをまず議論し、そのことを踏まえて、それぞれの意向投票数についての意味を斟酌する方途を検討する必要がある。そこで出された意見を学長選考に反映することが望ましいと考えるのでそのようにお願いしたい。
- ③ 学長選考会議の半数が学外委員（経営協議会）で構成されているが、学外委員の先生がどのような大学観をお持ちなのか、意見交換する場があってもよいのではないか。

以 上